《インクルーシブ教育》

厚木西高校の取組みについて



神奈川県立厚木西高等学校総括教諭 高橋 智明

本日の流れ

- 1. インクルーシブ教育実践推進校(パイロット校)について
- 2. 中高連携事業について
- 3. 厚木西高校の取組について ユニバーサルデザイン化の取組について 支援体制について 教育過程について
- 4. 学校生活について 授業風景、インターンシップ、清掃技能検定
- 5. 中高連携カリキュラムについて
- 6. 職員研修について
- 7. まとめ

【1. インクルーシブ教育実践推進校について】

・実践推進校(パイロット校)とは

平成28年度から始まった県立高校改革において、知的障がいのある生徒が高校教育を受ける機会を拡大するため、インクルーシブ教育実践推進校を3校(足柄高校、厚木西高校、茅ケ崎高校)指定し、平成29年4月、連携募集により各学校に生徒が入学しました。

最初に指定された3校をパイロット校と呼んでいます。



平成29年度は15名が、平成30年度は19名が 厚木西高校に入学しました。

【2. 中高連携事業について】

•概略

中高連携事業とは、「パイロット校はどんな学校なのか」、「どんな授業を受けるのか」、「どんな行事が行われるのか」、などについて、理解を深めながら志願の検討をしてもらうための取組です。



- 1. 学校説明会
- 2. 授業見学会
- 3. 学校行事

3種類の各事業にそれぞれ 参加していただきます。

•中高連携事業の様子

<学校行事見学(西翔祭体育の部)>



↑ 競技の見学



→ 係り活動の見学

・中高連携事業参加から入学者選抜まで

<志願資格>

中学生は、アーオも併せて志願について検討します。

連携する中学校に在籍し、療育手帳判定基準B2に該当する程度の知的障がいがある生徒で、中学校の校長の推薦を得た生徒

- ア 学級集団での学習及び生活が可能な生徒
- イ 学校生活において、原則として医療ケア等を要さない生徒
- ウ 公共交通機関等を利用して、自力での通学や校外における 学習活動への参加が可能な生徒
- エ 志願先の高校が実施する交流・連携事業に参加するなど、 入学の意欲のある生徒
- オ 入学後、将来の自立に向けて、学校生活に積極的に取り組 む意欲のある生徒



出願•入学者選抜

【3. 厚木西高校の取り組みについて】

創立34年目の厚木市「森の里」地区にある高等学校。 平成28年4月、「インクルーシブ教育実践推進校(パイロット校)」 として、実践を開始する。

く具体的な取り組み>

- (1)知的障がいのある生徒を対象とした「連携募集」による入学者選抜の実施
- (2)教育課程の工夫(学校設定教科・科目の設定等)
- (3)インクルーシブ教育に係るキャリア教育の実施



※ 授業のユニバーサルデザイン化、学校環境のユニバーサルデザイン化 (H29、30学校目標:すべての教育活動のユニバーサルデザイン化)

< 厚木西高校のユニバーサルデザイン化に向けて>

・フロントゼロ

授業中の刺激量を調整するため、黒板及び黒板周辺の環境を整備することを目的として、「フロントゼロ」を目標とし、「フロントゼロ」デーを設定しました。

•授業の目標設定

「この時間の目標」プレートを各教室に配置し、授業ごとにその時間の目標を提示するようにしました。

・施設設備の新設

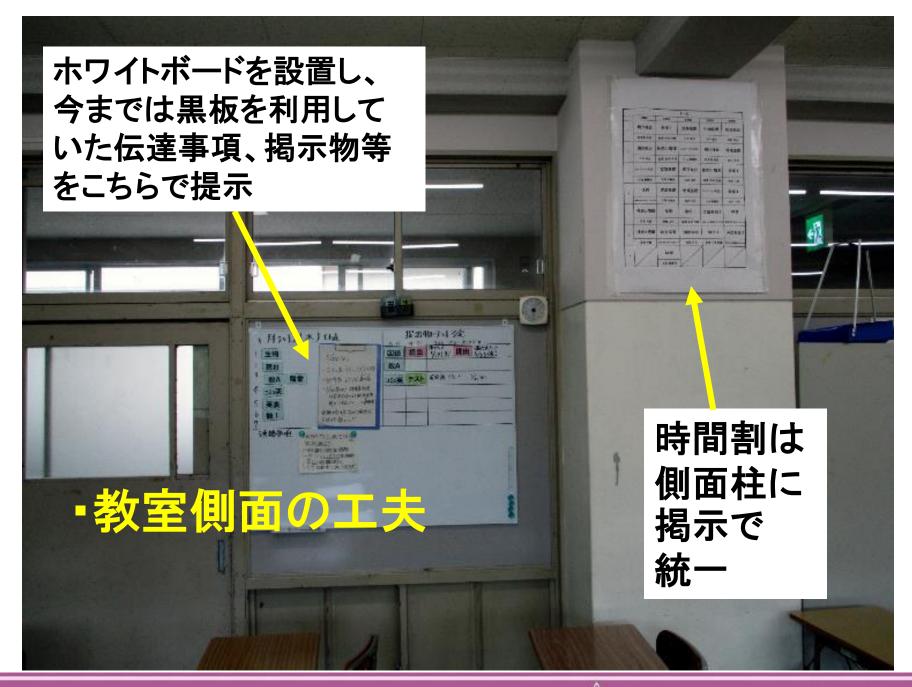
手すりや飛散防止フィルムの設置、トイレ洋式化リソースルームの 設置 等を施工しました。

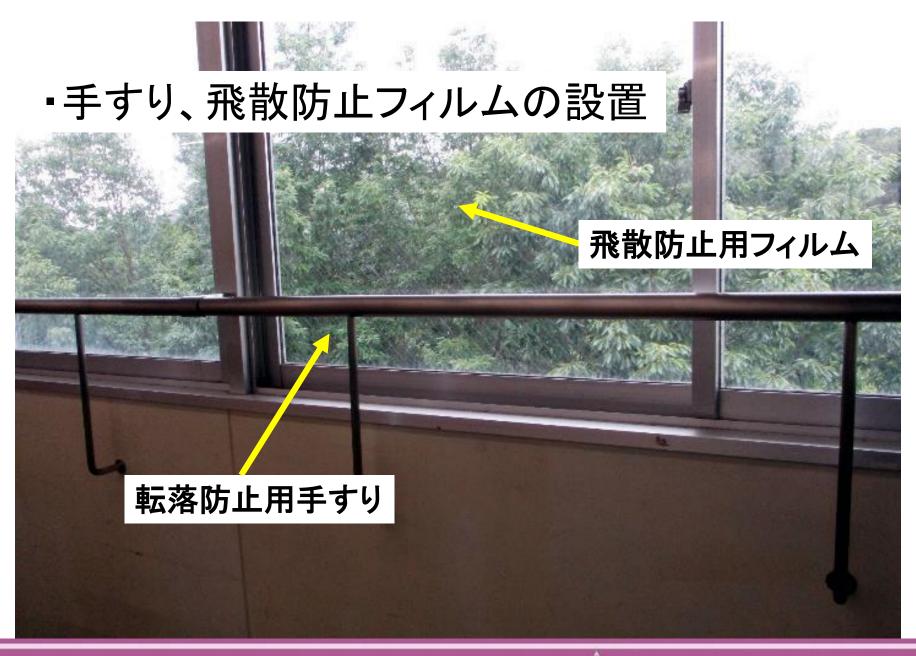
•その他の取り組み

職員の名札のストラップの色を学年色としました。 校内表示を棟別の色分けにして掲示しました。

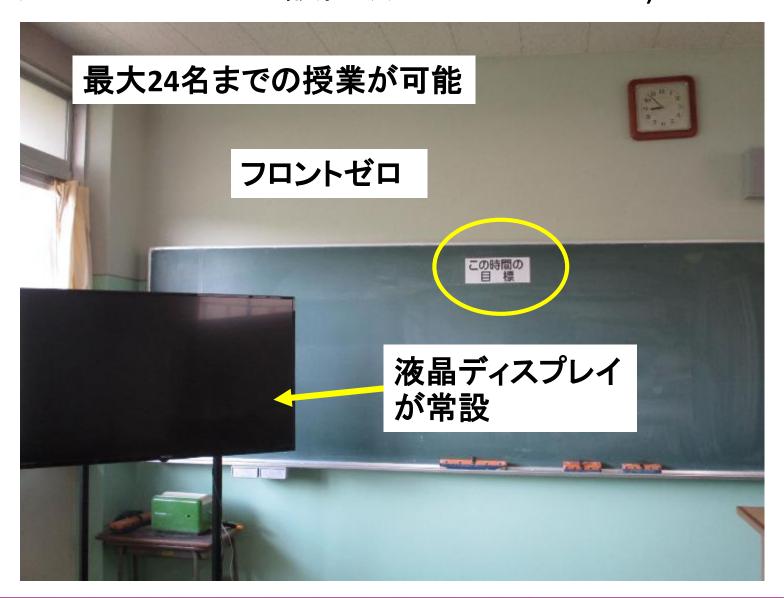






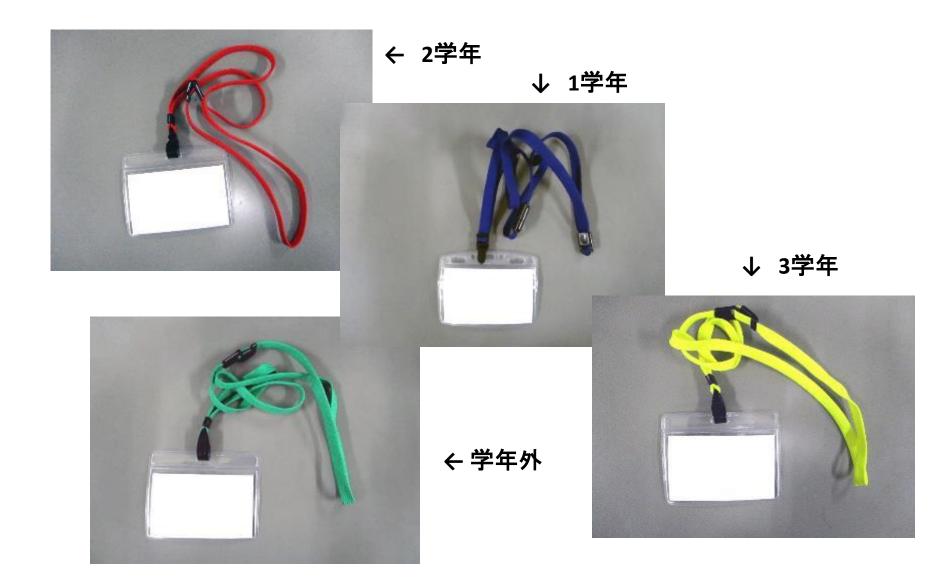


-リソースルームの設置(リソースルームA)





・職員名札用ストラップの工夫 各学年 + 学年外

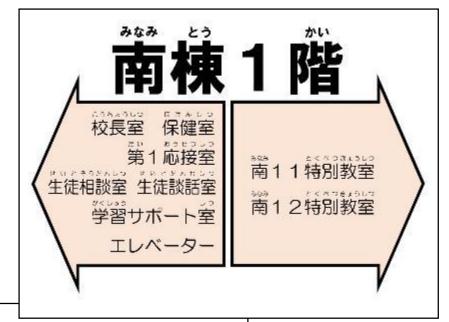


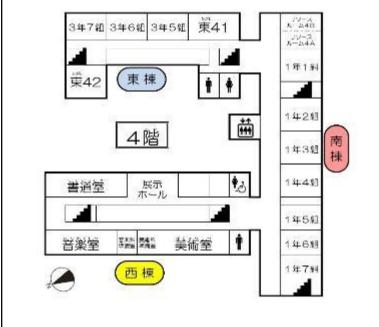
•校内表示



个 階段踊り場表示

廊下表示 →





← 教室配置

【厚木西高校における支援体制】 平成30年度

•1クラス3人担任制

担任・・・クラス全体の掌握。

連携担任・・・・主に連携募集で入学した生徒の支援を担当。

副担任・・・ 担任、連携担任を支えながらクラスを運営。

• ティームティーチング

1年生の授業は多くの授業でTTを行っている。

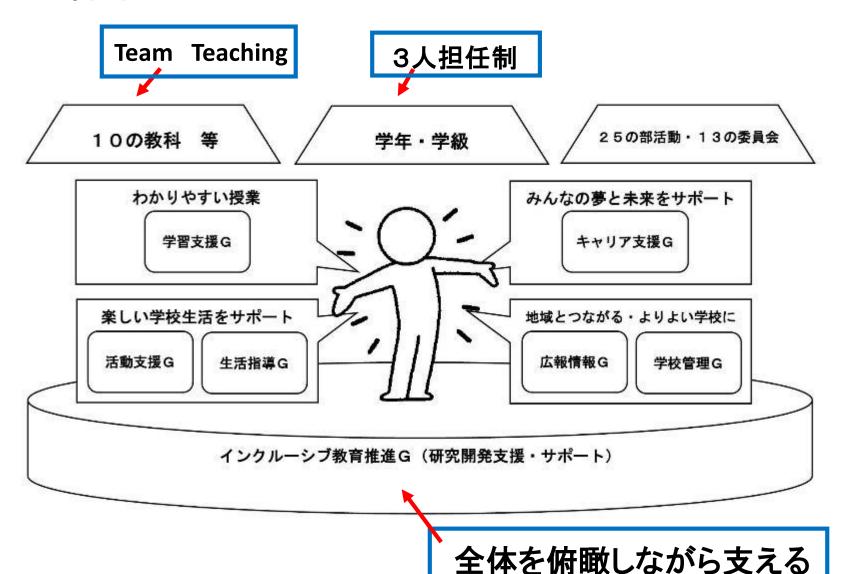
2年生は一部教科でTTを行う。

連携募集生徒を支えると共に全ての生徒のわかる授業を保障。

インクルーシブ教育推進グループの設置

他のグループと共にインクルーシブ教育を支え実現する。 中高連携事業への取り組み。 学年との連携。

校内体制イメージ図



・厚木西高校における配慮と支援(具体例)

1. 差別解消法に基づく「合理的配慮」の理解

(平成28年度、29年度 職員研修実施)

【基本的な考え方】

- ① 社会的障壁除去に関する申し出があること
- ② 実施に伴う負担が過重ではないこと
- ③ 社会的障壁の除去の実施を積極的に努めること

【申し出の方法】

- 〇「言語、手話、点字、拡大文字、筆談、実物の提示、身振りサイン等 による合図、触覚による意思伝達、通訳を介するもの」等を含める。
- 本人の意思表示が困難な場合は、家族、介助者、コミュニケーション 支援員等を介しての意思表示を含む。
- 意思の表示がない場合でも、当該障害者が社会的障壁の除去を 必要としていることが明白な場合は、自主的に取り組む。

(神奈川県教育委員会における障害を理由とする差別の 解消の推進に関する対応要領に係る留意事項 第5の3)

2. 個別教育計画の作成

様式1・・・・生活面、身体面、社会性、学習面についての実態と目標・手立て様式2・・・・各教科に関する実態と目標・手立て 個別教育計画に基づく個人内評価を、学期ごとに算定し、スモールステップで目標と手立てを更新する。

3. 授業における配慮と支援

- ・授業中のiPad等タブレット機器の使用 ・・・ 申請・許可
- ・教材の工夫・・・ ルビ・拡大・別課題等
- ・視覚的な授業・・・ プロジェクター、モニター、実物投影機等の利用

4. テストにおける配慮と支援

- ・別室(リソースルーム)受験可・・・ 読み上げ、解答方法の指示等
- ・問題用紙の工夫・・・ ルビ付き、解答欄の工夫
- ・必要に応じて、別問題での受検も可
- ・テスト時間中の廊下担当の導入

5. 学校生活における配慮と支援

- ・対象部活動顧問の増員 ・・・ 入部決定後に割り振り
- ・授業時間中の閉門・・・ 正門・通用門等の閉門
- ・必要に応じて各教科での補習(希望者)
- ・休憩時間等のリソースルーム使用可(連携募集生徒同士の交流)

【厚木西高校におけるインクルーシブ教育に係る カリキュラムの編成】

• 学校設定科目と学校設定教科

教科: 職業

科目: 職業と生き方(Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)

•総合的な学習の時間

全体で行う「総合」以外の時間を設定主に「PC検定」向け実技指導

・インターンシップ

夏季休業中に1単位(5日間)の職業体験を実施(学校外における学修の単位として認定)

•平成29年度入学生 教育課程

		1 2	3	4 !	6	7	8 9	10	11	12	13	14 15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1年	共通	国語		現代社会	数学 I		講	職業Ⅰ		勿里些楚	生物基礎	Ø	育	保健	美音 術楽 I I		С英		I	才	英語表現I			社会と情報		総合学習	LHR		
2 年	文	現代		世界	ī	5典E	įв }		数学Ⅱ		日本		В	1	比学		/±=0		保		- T		職業		英音 術楽 Ⅱ Ⅱ		総合	L	
	理	現代文B		史A	数	数学B		数学		±π		物理生物			化学基礎	体育		保健			C英 II		業 I	- 1	総会古	音楽	学習	R	
3 年	文	現代文B		発展古		政治経済		台斉	\$		世界史B 地理B 本史特論		44-1					1	英語		職業			自由	由	総合	L		
	理Ⅱ	現 日 数学Ⅲ 文 史 政経 数学概論					論	化学 物理発展 生物発展				体育		C英Ⅲ		ш	表現Ⅱ			I			選押	日	学習	HR			

【4. 学校生活について】 - 授業風景 1 - 職業と生き方 I (2クラス3展開)



个 ビジネスマナーに関する授業

→ 清掃技能に関する実習

- 授業風景2 -

総合的学習の時間 1年生 (7クラス8展開)



ー インターンシップ ー

平成29年度 学校近隣8箇所 平成30年度 近隣市町に拡大 倍以上の21企業・事業所で実施



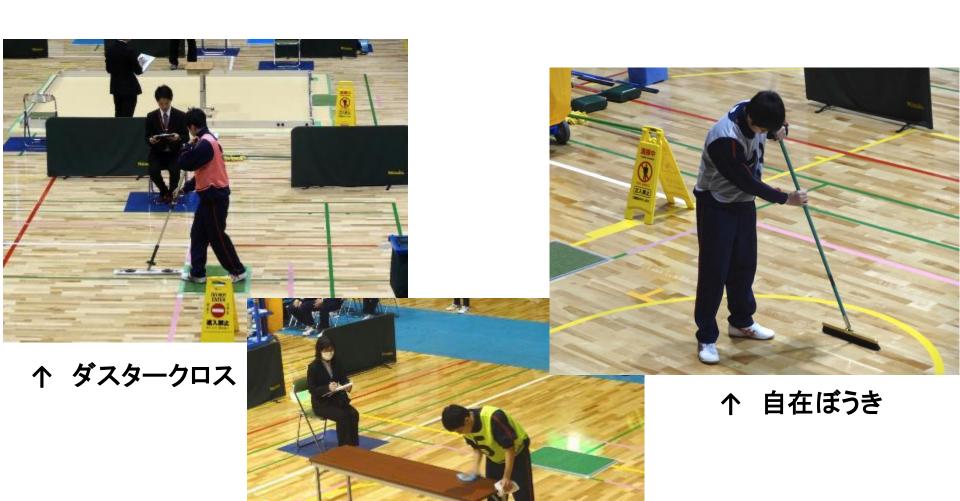
一般企業•特例子会社•福祉事業所

<産業種別>

- 卸売業, 小売業等••• 10名(ス-パ-等)
- サービス業・・・・・・ 5名(生活関連業(クリーニング・郵便局))
- 運輸 物流 引越業 • 6名
- 介護・福祉業 ••••• 5名 (介護補助を含める)
- 製造業(工業系) • • 2名(部品組立検品作業)
- 就労継続支援A型事業所…1名
- 飲食業・・・・・・・・ 1名(ファストフード店)
- 宿泊業・・・・・・・ 2名(ホテル客室業務)
- 特例子会社•••• 2名(2社)



- 平成29年度 清掃技能検定 - (大和スポーツセンターにて)



← タオル拭き

【5. 中高連携カリキュラムについて】 在校生への啓発

インクルーシブ教育実践推進校と連携する中学校において、 障害のあるなしにかかわらず、全ての生徒を対象に、相互理 解を促進し、多様性を尊重する態度と互いの良さを活かして 共同する力を育成するため、発達段階に応じた一貫性、連続 性のある教育を展開する。

在校生に対して、相互理解を促すためのプログラム

<平成29年度厚木西高校における連携カリキュラム>

・校内のユニバーサルデザイン化を促す取り組み 1年生「社会と情報」の授業でのワークとプレゼンテーション 1~3年生を集めた集会での報告と、講師による講評 講師によるユニバーサルデザイン化のすすめに関する講演 振り返り

【6. 職員研修について】

インクルーシブ教育に関係する職員研修は、年間で3~4回行われます。 平成29年度は4回の研修を行いました。

- 1. 4月4日(火) 連携募集生徒に対する配慮事項と 個別教育計画の作成について (講師:インクルG)
- 2. 7月24日(火) 学習内容を、わかりやすく手直しするための方法 ~高等学校におけるTTと教材作成のヒント~ (講師:鹿沼市立みなみ小学校教諭 冨永由紀子 先生)
- 3. 10月16日(月) 映画上映「みんなの学校」、グループダイアログ 日産自動車との合同研修会① 地域や近隣の企業・学校と連携した地域ぐるみの研修会
- 4. 12月26日(火)「みんなの学校」講演会 「みんなの学校」が教えてくれたこと 日産自動車との合同研修会② (講師:元大阪市立大空小学校校長 木村泰子 先生)

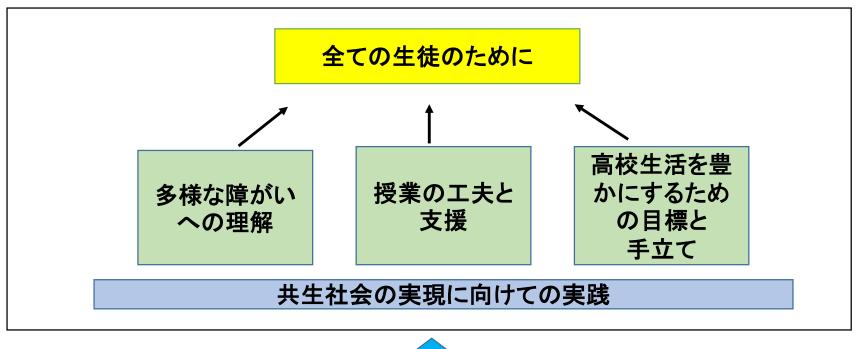
ー 研修会の様子 ー

平成29年10月16日

个「みんなの学校」上映会 (日産NATCホールにて) グループダイアログ (ワールドカフェ方式による 映画の振り返り)

【7. まとめ】

高等学校における支援教育の一層の充実





地域社会との連携 上級学校・企業・事業所との連携 特別支援学校との連携 他校種・他高等学校との連携



ご清聴ありがとうございました。

